平成30年度 指定管理施設検証結果報告書 施設名 道の駅甲斐大和 作成日 令和1年7月4日 所管課 観光商工課 観光企画・宣伝担当 課長名 中村 賢一 作成者名 市川 太一 担当名 名称 株式会社 エープレイス 代表者 代表取締役 手塚 公彦 指定管理者 山梨県甲州市大和町日影1112番地 所在地 指定期間 平成28年4月 ~ 平成33年3月(令和3年3月) 施設所在地 山梨県甲州市大和町初鹿野2248番地 管理施設の 設置目的 地域産業の振興と市民の福祉の向上を図るために、広く一般の休憩のための施設として、道の駅を設置する。 概要 施設管理 開館日 9:00 ~ 18:00 ※夏季売店のみ営業 利用者 市民、市民以外 17名 (毎週水曜日・年末年始・臨時休館を除く) 体制 時間等 -ビス提供の内容 (1)道の駅甲斐大和外1施設のそれぞれの設置及び管理条例に定める設置目的達成の実施に関する業務 (2)道の駅甲斐大和外1施設の施設等の維持管理及び修繕に関する業務 (3)道の駅甲斐大和外1施設の利用の受付及び案内に関する業務 (4)道の駅甲斐大和外1施設の利用の許可に関する業務 (5)道の駅甲斐大和外1施設の利用の促進に関する業務 事業概要 (6)その他の日常業務 (1)そば切り発祥の郷づくり事業 (2)うらじろ(オヤマボクチ)を使った特産品開発 事 (3)観光イベント出店 管理運営コスト推移 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 (千円) (指定期間1年目) (指定期間2年目) (指定期間3年目) (指定期間4年目) (指定期間5年目) 指定管理料 2,916 2,700 3,240 事業収入(売店、軽食等) 118,500 136,500 143,100 事業収入(レストラン 22 000 0 21 000 その他収入 2.600 2.504 4.252 管理運営経費 151,900 162,235 149,638 指定管理料 3.240 2.916 2.700 事業収入(売店、軽食等) 135,158 143,018 151,784 D O 事業収入(レストラン) 21.462 22.525 411 その他収入 3 049 4 548 6 131 171 002 管理運堂経費 166 375 156 911 収支 -3.4662.005 4.116 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 施設の稼動状況 (指定期間1年目) (指定期間3年目) (指定期間5年目) (指定期間2年日) (指定期間4年目) 施設利用者数 152.342 148.298 155.312 橝 ・道の駅の売店の売上げが伸びており昨年度より好調である、また、レストランを外部委託することによって経費削減となった。道の駅甲斐大和の営業努力により昨年度よりも収支黒字を伸ばすことが出来た。 活動結果 評価 (5 4 3 2 1) 評価観点 評価の説明 協定書通りに適正に管理運営されている。 そば切り発祥の郷づくり事業に伴うそばの栽培では食害や台風により予定数を収穫出来なかったが、う 4 (1)事業の運営 らじろを使った特産品開発に取り組むなど着実に事業を行っている。また、ホームページとパンフレットを 新しく作成し直すなどし、利用者を増やすことが出来た。 ・日常点検、法令点検等着実に行っている。また職員の朝礼の実施、定期的なミーティング、他の道の駅 H 3 (2)施設の維持管理 の視察などの職員研修も行い職員の能力向上に努めている ・施設の修繕も観光商工課と協議のうえ着実に行い適切に維持管理されている。 C 4 (3)収入支出 ・売店の売上の好調とレストランの外部委託による経費削減を行い昨年度以上の収支となった。 (4)総合評価 総合評価の説明(施設所管課による一次評価) 特産品の開発や、ホームページとパンフレットの作成等利用客の増加に努めている。また、レストランの 良好 優良 良好 妥当 要改善 不適 外部委託による経費削減に努めるなど良好な管理業務を行っている。 平成30年度評価結果に対する今後の対応 当面の 施設も築20年以上経過しており老朽化が進んでいる。施設及び設備の更新と修繕が増えることが予想され今後の課題となる。 C 課題 O ・日常点検、法定点検等を着実に行い早期に対応する事により修繕費用を抑えるよう努める。また、観光商工課と協議し更新及び修繕を行う。 への対応 上次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

- 仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されており、施設利用者数の増加に努めている。
- ・売店においては地場産品の充実を図り、事業収益の確保に努めている。
- ・地域資源を活用した自主事業を積極的に展開するとともに、市のイベントや地域振興に資する取り組みにも積極的に参画している。引き続き、地域産業の振興と住民福祉の向上に努めていただきたい。